

◇ 首都圏最大級の雨水調整槽を設置 ◇

東京スカイツリータウン®

利用方式：個別循環方式+雨水利用方式

活用用途

水洗トイレ洗浄水：高層階除く（冷却塔ブロー排水、空調加湿水）

植栽灌水：外構、屋上（雨水）

概要

災害対応（雨水等）

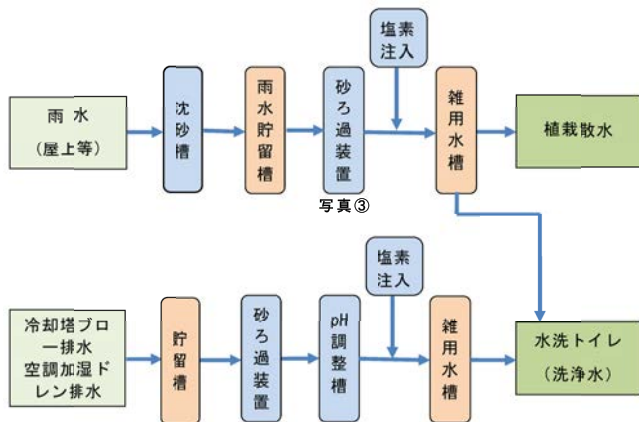
- ・東京スカイツリー®（電波塔）を中心にした複合施設。
- ・自然エネルギー等の利用による環境負荷削減の取組みを実施している。
- ・環境負荷削減のひとつとして、雨水の多目的利用を行っている。

導入効果

- ・上水道使用量を削減している（約 10%）
- ・集中豪雨などの雨水の流出抑制に寄与している
- ・貯留槽内の雨水等は、断水等の非常時にも利用可能

雑用水活用フロー

雨水は沈砂後雨水貯留槽に貯留し、ろ過装置による処理を行い、植栽の散水に利用している。冷却塔ブロー排水及び空調加湿水は、ろ過装置による処理の後、pH 調整を行った後に塩素注入を行っている。



<施設管理者の声>

夏季の結露ドレン水も利用できれば、上水を更に削減できる可能性がある。

設備等の状況



写真① 施設の外観



写真② 植栽への灌水

植栽への灌水に雨水を利用している。



写真③ 雨水のろ過装置

雨水のろ過を行い、微細な浮遊物を除去している。この後、残留塩素濃度が末端部で基準値以上になるように塩素注入を行う。



写真④ トイレでの雑用水

使用の表示

施設の諸元

施設の用途	電波塔、商業施設、事務所 ほか		
施設の構造	東京スカイツリーイーストタワー：地上 31 階地下 3 階 東京スカイツリー®：ビル高さ 470.97m（タワー高さ 634m）		
敷地面積（m <sup>2</sup> ）	36,844.39	竣工年	2012 年
延べ床面積（m <sup>2</sup> ）	229,728.92（展望施設含む）	施設設置場所	地下 2 階
再生水	原水種類	冷却塔ブロー水、空調加湿ドレン水	
	処理方式	ろ過装置、pH 調整	
雨水	処理方式	ろ過装置	
	集水面積	5,453 m <sup>2</sup> （屋上やテラス等建物各所から集水）	
	雨水貯留槽容量	39.1 m <sup>3</sup> （ほかに調整槽 2,635m <sup>3</sup> を整備）	
雑用水貯留槽容量	141 m <sup>3</sup>		
補給水量	75,941 m <sup>3</sup> /年（上水道）		
雑用系用途年間利用量	85,154 m <sup>3</sup> /年		